

## 技術のおたずねにこたえて

【おたずね】 ヒラタケのびん栽培を行っています。最近、菌回りが遅れ、収量も減りました。また菌回りは順調なのに生育室で芽がつぶれたり、傘が赤くなるものも多く見られます。原因と対策を教えてください。なお私の施設は井戸水を使っています。  
(N市, T生)

【おこたえ】 原因は2つあるようです。

まず第一の原因は、培養終了までに生じたバクテリア汚染です。菌床中にバクテリアが繁殖すると、その部分へはヒラタケ菌糸が進入しにくくなるので菌回りが極端に遅れます。こうなると、バクテリアが栄養分を消費した後にヒラタケ菌糸が生長するわけですから、芽がつぶれたり、収量が減るのは当然ですし、バクテリアの種類によっては、菌回りが止まってしまったり、傘が赤くなるこ

ともあります。この汚染の主たる原因は、殺菌不足、接種操作ミス、種菌の汚染、が挙げられ、特に最近では自動植菌機の消毒不足から種菌の汚染を生じ、これが拡大されるケースが目立ちます。植菌機の消毒を徹底することはもちろんですが、種菌の接種は機械を用いず、ていねいに手植えとし、培養管理も栽培びんとは別格に扱うことが必要です。

つぎに2番目の問題ですが、菌回りの正常な菌床に芽出し以後異常が生ずる原因は、井戸水にあります。井戸水は水道水と異なって塩素を含まないため、加湿ライン中にバクテリアが繁殖し、これが霧に乗って菌床を汚染するのです。この場合は専門の業者に消毒機を設置してもらえば治ります。なお、どんなに清潔な水であれ、室内を過湿にしたり、直接キノコに散水することは厳禁です。

(林産試験場 特殊林産科)